

令和4年度 芸術科「美術Ⅱ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・2年・1～8組
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

<p>美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p>
--

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	色彩	構成・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 色の3属性、混色などについて関心を持つ。 アクリル絵の具の扱い方を学ぶ。 補色、同化、対比など色彩の性質がもたらす効果を実際に体験して理解する。 効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を吟味しながら制作する。 他者の作品から学び、今後の制作に活かす。 	ワークシート 制作途中の作品 完成した作品
6 7	パッケージデザイン	デザイン・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 身の周りのデザインに触れ、デザインの意図、表現の工夫を理解する。 伝える目的や条件を元に、主題を生み出し、表現や構想を練りデザインを考える。 効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を吟味しながら制作する。 他者の作品から学び、今後の制作に活かす。 	ワークシート 制作途中の作品 完成した作品
9	スリットアニメーション	映像・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> アニメーション作品を鑑賞し、技法や技術、歴史などについて関心を持つ。 ループ性のある動きを基に主題を生成する。 主題を基に、アイデアスケッチにより構成などを創意工夫して構想をまとめる。 発想が表現意図と合致しているか、相手に伝わりやすいかなどを考え、オリジナリティのあるアニメーションをつくる。 他者の作品から作者の発想や構想の独自性や表現の工夫などを感じ取り、ワークシートにまとめる。 	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成した作品
10 11 12	日本画	絵画・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 日本画の特徴やよさ、美しさを味わう。 日本画の特徴と技法を理解する。" 日本画の技法や用具、材料の特徴について実際に体験して理解する。" 写生を基に、表現の意図に応じた技法や用具を使い、表現方法を創意工夫し、主題を追求して制作する。" 他者の作品から学び、今後の制作に役立てる。 	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成した作品
1 2 3	陶芸	デザイン・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 粘土の特性を理解し、使う人や使用する目的や条件を考え、発想する。 日用使い・使用する用途に適した造形要素や図柄を考えて構想を練る。 素材の特性を生かし、効果的な手順や技法などを検討して制作する。 他者の作品から作者の発想や構想の独自性や表現の工夫などを感じ取り、ワークシートにまとめる。 	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成した作品

3 評価の観点

関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し創造的な表現の構想を練っているか。
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表しているか。
鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的にあじわっているか。

4 評価の方法

美術への関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能及び鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

2年生では、1年生の時に身につけたことを柔軟に活用し制作していきます。1年の時よりも幅広い表現を用いて制作しますので、よりオリジナリティの高い作品を期待します。
--

